

落葉や木の実で遊ぼう

★ねらい 葉や木の形や色を生かした遊ぶものを作ることにより、秋の季節に触れる楽しさを味わわせる。

[対象：小学校低学年]

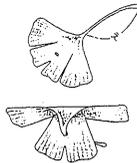
1. 落葉で遊ぶ



(1) イチョウの葉で動物を作る。

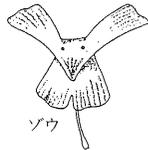
- ・イチョウの葉
- ・釘など穴を開けるもの
- ・はさみ
- ・油性のマジックペン

①黄色くなったイチョウの葉を用意し、葉を右の図のように3つに裂き、真ん中に穴を開ける。



②柄の部分に穴にさしこむ。

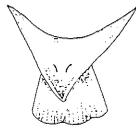
③油性のサインペンで目を描き入れたり、耳の形に葉を切ったりして、好きな動物の顔にする。



ゾウ



タヌキ



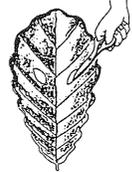
キツネ

(2) 大きな葉でお面を作る。

- ・大きな葉 (ホオノキの葉、カシワの葉、プラタナスの葉)
- ・ススキの穂
- ・はさみ
- ・穴を開けるもの
- ・カッターとカッター板

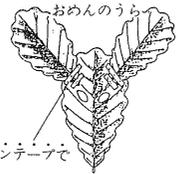
- ・セロハンテープ
- ・色セロハン

- カッターやはさみで目になる部分を切り抜いて、切り抜いた部分に、裏側から色セロハンを貼る。
- 耳になる部分を作る。



葉を切って形を作る。
ホオノキのキツネ

小さな葉をつける
カシワの木のトナカイ
おめんのうら



セロハンテープで
はる

- ススキの穂を使って、ヒゲをつける。

※小さな葉でお面作りをする場合は、工作用紙で顔の土台になる部分を作り、その上に葉っぱを貼らせるとよい。

(3) 落葉で変身しよう。

- ・いろいろな落葉
- ・はさみ
- ・ビニルのゴミ袋 (又はレインコート)
- ・セロハンテープ

①ビニルのゴミ袋で作ったチョッキ (作り方は下の図参照) やレインコートに、模様を考えながら隙間なく落葉を並べる。

②模様が決まったら、下の部分からセロハンテープで貼る。



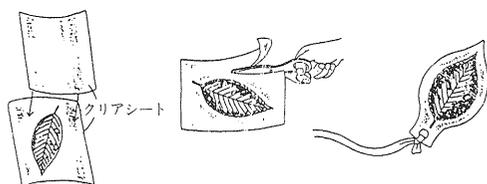
(4) 落葉でしおりを作ろう。

- ・きれいな落葉
- ・クリアシート
- ・はさみ
- ・粘着カバーフィルム
- ・穴開けパンチ
- ・リボン (又は毛糸)

①クリアシートの上に、気に入ったきれいな落葉を置き、上から粘着カバーフィルムをかぶせて空気が入らないようにして貼りつける。

②葉の柄の部分は多めに残し、落葉の回りを切る。

③パンチで穴を開けて、リボンを通して結ぶ。



2. 木の実を使って遊ぶ

(1) どんぐりゴマを作る。

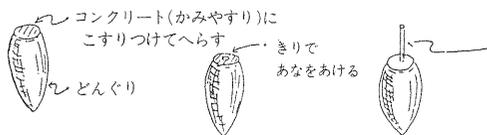
- ・どんぐり
- ・楊子
- ・キリ (又は画鋸)
- ・紙ヤスリ
- ・カッター

①どんぐりの尖ってない方を紙ヤスリ (野外ではコンクリート) にこすりつけて、平にする。

②平にした部分にキリで穴を開ける。

③キリで穴を開けた部分に楊子をさす。

○楊子が長い場合は、長い部分をカッターで切り落とす。

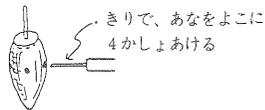


※宇宙ステーション型のコマを作る

(大きいどんぐりと小さいどんぐりを使って)

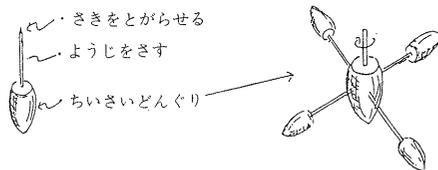
①大きいどんぐりの尖っていない方を紙ヤスリでこすって平にし、楊子をさす。

②楊子をさした大きいどんぐりの側面に、キリで等間隔に4つの穴を開ける。



③小さなどんぐりも同様にして楊子をさして、楊子の先をカッターで削って尖らせる。(同じものを4個作る。)

④大きなどんぐりの側面の穴の部分に、4個の小さなどんぐりを下の図のようにつける。



○宇宙ステーション型のコマは、回りの4つのどんぐりがバランスよくついていないと回転しない。したがって、子どもたちが試行錯誤しながら、次のような観点で製作していけるように、材料は豊富に用意しておく。

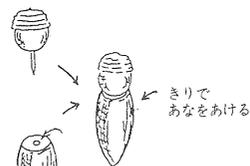
- ・穴を開ける位置
- ・楊子の長さ
- ・回りの4つの小さなどんぐりの大きさ

(2) やじろべえを作る。

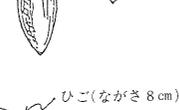
- ・どんぐり
- ・板材
- ・角材
- ・サインペン
- ・竹ひご (10cmを2本、8cmを2本)
- ・楊子
- ・針金 (30cm)
- ・カッター
- ・厚紙
- ・はさみ
- ・紙ヤスリ
- ・キリ (又は画鋸)

[その1] どんぐりを芯にしたやじろべえ

①かさがついた小さなどんぐりに楊子をさして楊子の先をカッターで削って尖らせる。



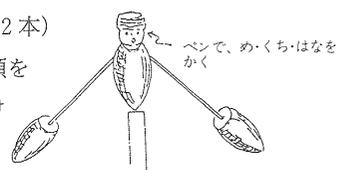
②やや大きめのどんぐりの尖っていない方を紙ヤスリで平にし、側面に2つの穴を開ける。



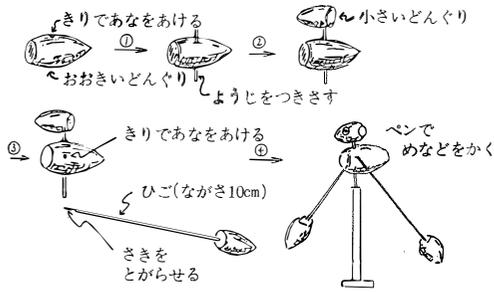
③どんぐりと竹ひご (8cm) で腕を作る。(2本)



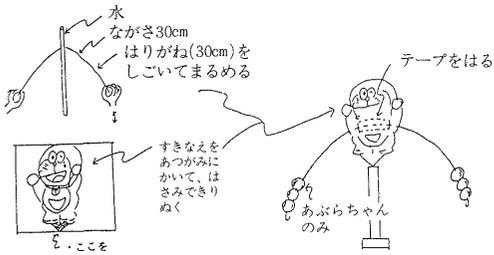
④サインペンで顔を描き、腕をつける。



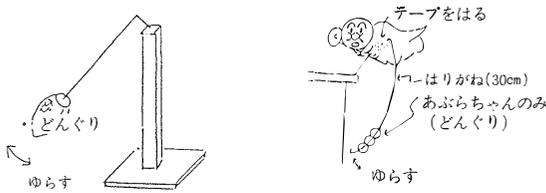
[その2] 楊子を芯にしたやじろべえ



[その3] 腕の傾きを変えられるやじろべえ

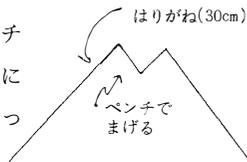


[その4] 支点の位置が端にあるやじろべえ



(3)調べてみる。

○針金(30cm)をペンチで曲げて右の図のようにし、どんぐりの実を使って調べる。



①腕の開き方を変える。

- 大きく開いた時
- 小さく開いた時



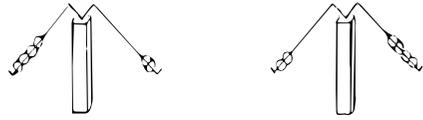
②おもり(どんぐり)の数を考える。

- 1個の時
- 3個の時



③右と左の腕につけるおもり(どんぐり)の数を違うようにする。

- 右腕2個、左腕4個
- 右腕4個、左腕2個



(4)トチノミで笛を作る。

- トチノミ
- キリ
- ドライバー

- ①キリで直径1cmくらいの穴を開ける。
- ②キリやドライバーなどで中の身を取り出す。
- ③穴に唇を当て、強く息を吹きかけて、音を出してみる。